

「夢に向かって努力続けて」

高校生考案のデザートが給食に登場 秋田・横手市

24日、秋田県横手市の中学校の給食に、パティシエを目指す高校生が考えたケーキが登場した。特別なデザートは、中学生が将来を考えるきっかけになったようだ。昼食の時間。横手市の中高一貫校・横手清陵学院中学校では、生徒たちが給食準備の真っ最中。24日の献立は、うどんにナムル、そしてデザートは「パイナップルケーキ」。

中学2年生：「パイナップルが真ん中に入っているのは、すごく斬新なアイデアだと思った」「中がすごくしっとりしていて、おいしい」

生徒たちに大好評のパイナップルケーキ。実はレシピを考えたのは、横手清陵学院高校3年の佐々木桃弥さんだ。佐々木さんは、菓子のコンテストで2年連続のグランプリに輝いた実力の持ち主で、2022年春には友人とともに期間限定でカフェをオープン。経営の難しさなどを感じながらも、夢実現への気持ちが一層高まった。

横手清陵学院高校3年・佐々木桃弥さん：「より多くの方々に食べてもらえることはすごいことだと思っ
たし、すごくうれしかった。カフェの活動をきっかけに、パティシエを目指したいと思った」

中学2年生：「自分の特技を伸ばして、将来に生かしていきたいと思った」

パイナップルケーキは、佐々木さんの祖母のケーキをアレンジしたもので、「努力を続ければ夢はかなえられる」というメッセージが込められている。

佐々木桃弥さん：「自分が考案したケーキをこんなに食べてもらえるなんてびっくりだし、うれしい」

中学2年生：「桃弥さんを見て、私も今から自分の夢を見つけていきたいと思った」

特別なデザートは、中学生が自らの将来を思い描くきっかけになったようだ。